



1



2



3

1. 西側全景と広場、地下のエントランス
2. 1階中央ホール
3. カフェから見る広場のスロープ

#### 京都市美術館（京都市京セラ美術館）概要

- 所在地 京都府京都市左京区岡崎門勝寺町124
- 建築主 京都市
- 設計者 ㈱AS、㈱西澤徹夫建築事務所、㈱松村組、㈱昭和設計
- 施工者 ㈱松村組
- 竣工日 2019年10月31日

- 敷地面積 25,383㎡
- 建築面積 8,482㎡
- 延床面積 19,495㎡

- 階数 地上2階、地下1階
- 構造 本館：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造  
新館：鉄骨造



詳細や他の写真などは  
左記の二次元コードから  
Webページにアクセスしてご覧ください。

日建連表彰2023



第64回BCS賞

# 京都市美術館 (京都市京セラ美術館)

選定理由 【選考委員】  
山内弘隆・宮崎 浩大西正修

一九三三年創建のいわゆる帝冠様式を代表する京都市美術館は、現存する公立美術館のなかではもつとも歴史的な建物であるが、築後数一〇〇年の歴史的建造物が数多く現存する古都京都のなかにあつては、決して古い建築ではない。近年、機能面でも防災面でも、時代にそぐわないと言われ、近代の建築が至るところで立て続けに取り壊されているなか、京都市は、あえて「保存・再生」の方向性を示す「京都市美術館再整備基本計画」を策定し、公募型プロポーザルにより設計者を選定した。設計者は、その英断に見事に応え、この地域の貴重かつ歴史的なストックを時代に相応しい美術館へと更新した。

京都市美術館が立地する岡崎公園では、京都会館及び京都市動物公園が近年改修され、この地区全体での統一性・協調性が求められるなか、新美術館は、平安神宮に続く神宮道に面する神宮前広場を残しながら、広場の建物沿いにゆつたりとしたスロープ広場を掘り込み、大胆にも琵琶湖疏水に面する既存建物の地下からアプローチするという画期的な企画で、地上の歴史的な美術館の姿をこの地区の風景として完全に残している。新しく生まれたガラスリボンと呼ばれる地階エントランスゾーンから、一階の旧大陳列室を改修した中央ホールに至る階段が新たに設置されたことで、東の日本庭園までの強い軸性を持つ東西動線が生み出されている。開館時には無料で自由に利用することができ、地域のオープンな回遊動線として機能し、地区全体の魅力の向上に寄与している。

園が近年改修され、この地区全体での統一性・協調性が求められるなか、新美術館は、平安神宮に続く神宮道に面する神宮前広場を残しながら、広場の建物沿いにゆつたりとしたスロープ広場を掘り込み、大胆にも琵琶湖疏水に面する既存建物の地下からアプローチするという画期的な企画で、地上の歴史的な美術館の姿をこの地区の風景として完全に残している。新しく生まれたガラスリボンと呼ばれる地階エントランスゾーンから、一階の旧大陳列室を改修した中央ホールに至る階段が新たに設置されたことで、東の日本庭園までの強い軸性を持つ東西動線が生み出されている。開館時には無料で自由に利用することができ、地域のオープンな回遊動線として機能し、地区全体の魅力の向上に寄与している。

今回の改修デザインの特徴は、重要文化財の指定を視野に入れ、耐震補強や設備更新などについても文化財としての建築に配慮しながら、可逆性を確保したうえで改修・増築を行い、新旧の空間の違いを際立たせるのではなく、慎重にオリジナルの空間を生かし、今まで細かな補修を重ねながら長く使い続けられてきた建築に新しい一層を静かに塗り重ねるよう手を加えることで、現代のニーズに充分応えられるものとしていところにある。例えば、これまで設備機器置場となっていた北中庭に新しくガラス屋根を架けて室内化し、展示室に面する窓開口に

《日建連表彰2023 第64回BCS賞受賞作品》 WITH HARAJUKU / Entō / 大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備 / 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 / 京都市美術館(京都市京セラ美術館) / シェルター・インクルーシブプレイス コバル / 渋谷 パルコ・ヒューリックビル / 清水建設北陸支店新社屋 / 新宮市文化複合施設(丹鶴ホール) / 那覇文化芸術劇場 なはーと / 日本女子大学目白キャンパス再整備 / Port Plus / 丸紅ビル / ミチノテラス豊洲 / 早稲田大学本庄高等学院体育館